

事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 21日

事業所名 いきいきHAPPY STEP津福

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	適切な広さを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	11	0	基準以上の配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	段差がなくフルフラットでバリアフリー化されている。視覚的な情報も整理整頓して集中しやすい環境にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	定期的な清掃・消毒を実施している。お子様に合わせた個室選択や活動空間作りを行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	月目標、定期面談での個人目標にて実施。日々の中では終礼などの実施を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	年1回の事業所アンケートの実施。待合スペースに意見箱の設置をしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0	アンケートの実施および、その後の改善点について検討し、結果の公表をホームページにて行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	0	社内の内部強化室という部署の業務確認を実施し、業務改善に努めている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	毎月の勉強会。外部研修の案内なども積極的に実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0	事業所独自の「できるチェックシート」を定期的実施し、発達アセスメントを行った上で、個別支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	0	事業所独自の「できるチェックシート」は、KIDSという標準化された検査を参考にしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	個別療育により、本人への支援を実施している。親子療育で親子で通所頂くことで、毎回保護者様とのお話を実施し、家族支援を実施している。地域との連携も必要に応じて行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	支援計画が日々の記録用に表記されるような書式としており、計画に沿った支援がなされるよう工夫している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	新規で利用されている方は、初期評価を実施し、初回カンファの実施。その後は、定期的なカンファレンスにてチームで支援を検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	固定化されないよう必要に応じて段階付けてサービス提供を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11	0	当事業所では個別療育であるが、集団生活に必要なようになってくるコミュニケーションや社会性の面での支援も計画している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	朝礼・終礼や申し送りシートなどで共有して実施している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	終礼での情報共有や申し送りシートを活用して情報共有するように努めている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	記録以外に、終礼の際のノート記入やヒヤリハット、ケースノート等独自で見直しを行い改善につなげる取り組みを実施している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	6ヶ月に1度のモニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	0	必要に応じて相談員や市町村、園との連携を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11	0	必要に応じて医療機関との情報共有や保護者様を通じての情報収集を行っている。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	0	必要に応じて連絡を取れる体制を整えている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	サービス担当者会議や情報提供書、必要時には電話連絡を取って連携している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	0	学校への移行支援ではサポートブック(にじいろノート)の作成をして情報共有を図っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0	必要に応じて、幼児教育研究所や医療機関などの担当者へ情報提供を呼び掛け、助言を頂いています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	11	スタッフが園に訪問して支援のアドバイスを実施したことはあります。	当事業所を利用されているお子様が、地域の園との交流ができるような機会は設けることができていません。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	3	子ども分科会への参加をしており、案内を頂くように働きかけています。	コロナによる開催が見合わせられている面もありますので、オンラインなどの参加方法も検討して積極的に参加できるように努めます。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	毎回の療育後のフィードバックで状況のご報告を保護者様に行っています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11	0	保護者様へのフィードバックの際に、ご説明していることと、必要に応じて保護者様同席して頂き、支援の様子を見て頂きながらお伝えしています。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	契約の際にご説明を行うことと、変更が生じた際には文章化してご説明を行っています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	個別支援計画書作成後には、保護者様に計画書をご提示し、ご説明を行い、同意のサインを頂いています。サイン頂いたものの複写をお渡ししています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	毎回の療育後のフィードバックの際に、相談が行える状況を設定しています。また、必要に応じて児童発達支援管理責任者が個別にお話をしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	5	保護者様が行っている活動についてのチラシなどを掲示やご自由にお取りになれるように設置しています。	保護者様同士が連携を図りやすいような取り組みや父母の会などの活動支援などは行えていませんので、今後検討していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	担当スタッフで相談を受けた際には、終礼にて必ず共有している。相談への対応については、担当もしくは児童発達支援管理責任者から返答している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	2	事業所内に掲示板の設置をし、全体への周知文は配布と掲示を行っている。会報はないが、ブログ発信をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	取り扱いに関する社内ルールの周知および、ルールが守れているかのチェックをし、十分に気を付けています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	PECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)など必要に応じて活用している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	11		事業所に行事などはなく、地域との関わりはない状況。要望や必要に応じて地域住民を招待する行事の検討を行います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	0	社内のマニュアルの整備は行っており、勉強会や訓練の実施を行っています。	保護者様への周知は行っておりませんでしたので、周知する為の取り組みを検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	年2回の避難訓練の実施をしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0	利用開始時に基礎情報の収集を行っています。発作などのリスクがあるお子様については、日々確認する記録に表示されるようにしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	個別療育型により、食事提供を行っておりませんので、特に対応を行っておりません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	ヒヤリハットは日々の終礼の中でノートに記載し対応の検討を行っています。対策の共有については、毎日の朝礼での共有をしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	入職時と年に1回虐待防止についての研修会を行っています。また、日々の終礼の中で接遇ノートに接遇面での良い点、悪い点の記載をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	0	入職時と年に1回虐待防止についての研修会を実施し、その中で身体拘束についての研修も実施。今のところ、身体拘束する場面がない為、個別支援計画書への記入は行っていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。